

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣養老高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和5年 1月27日(金) 13:50~14:50
- 3 開催場所 大垣養老高等学校 会議室
- 4 会議の構成 学校運営協議会委員

会 長	林 新太郎	同窓会長
副会長	久保寺 美佳	地域の住民
会 員	長屋 道幸	保護者(本校PTA会長)
	清水由美子	養老町議会議員
	野崎 道夫	特別養護老人ホーム「白鶴荘」施設長
	伊藤由美子	女性農業経営アドバイザー
	宇納 光好	藤井ハウス産業(株)総務部長
学 校 側	石黒 比利	校長
	西脇 淳子	事務部長
	大矢 英樹	教頭
	奈波 宏和	教頭
	土本 繁	教務主任
	戸田 京介	生徒指導部長
	水谷 孝彦	進路指導部長
	大野 宏	総合学科部長
	長谷川 緑	農場長
	桂川 法生	寮務部長

5 会議の概要

(1) 生徒発表 プロジェクト発表

「飛驒牛(ひだうし・ひだぎゅう)の発展のために」

(JA農業教育支援事業プロジェクト発表大会 準グランプリ受賞)

(2) 学校長挨拶

- ・学校運営報告（現在の状況等）
- ・大垣養老高校1年間の生徒の活躍（報告）

(3) 自己評価

- ・学校運営、教務部、生徒指導部、進路指導部、総合学科部、農業部、寮務部の順に、資料に沿って自己評価の説明を行った。

(4) 意見交流

意見1：今後も、ICT化を推進した授業を深め、展開して行ってほしい。

スマート農業における教育の推進に努めてほしい。

意見2：各部が学年を超えた交流により、知識や技術の交流がしっかりできている。

和牛甲子園の5年間の取組が、先輩から後輩へと繋がり、生徒主体の取組が活かされており、成果を発揮している。（第6回 和牛甲子園 最優秀賞）

意見3：教師が高い目的意識を持って指導していることがうかがい知れる。それに対し、

生徒が共に意識を高め成長していることが、取組の結果に出ている。

意見4：進路指導部、生徒指導部との連携がよく取れている。

就職試験等で、ありのままの姿を評価していただけるようになってきた。

本校生徒の、各種取組に対する我慢強さが定着してきた。

意見5：いじめが少ない。本校は、生きものを生み、育てる生命産業教育を担っている。

今後も、「農」「福」の連携を強化し、命の大切さをしっかり学んでほしい。

意見6：校内の農業科・総合学科（商業科・生活福祉科）の持ち味を引き出しながら他学科連携を推進してほしい。

意見7：学校西側の農道に十年越しに街灯設置がされた。

周辺の行政機関、事業所、観光資源等を活用した地域連携を構築する。今後、学校周辺の環境にも目を向け、安全教育にも尽力していきたい。

6 会議のまとめ

コロナ禍の1年であったが、今年度は3回の対面開催ができた。それらを通して、今年度の取組状況や成果・課題を委員の皆様にご説明させていただいたり、生徒が学習成果を発表する機会を通して、生徒の成長の姿を見ていただいたりすることができた。

今回も学校運営の充実のために有益な提言が得られた。自己肯定感、自己実現力を身に付け、努力できる生徒を育てるべく、今後の学校運営に活かし、魅力ある学校づくりを推進していきたい。